



ふじみ

第159号

令和元年7月1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会
 責任者 理事長 工藤和子
 施設 特別養護老人ホーム富士見荘
 ケアハウスアーベイン八幡平
 松尾デイサービスセンター
 介護相談所陽だまり
(富士見荘指定介護事業所・富士見荘指定在宅介護支援事業所)
 地域密着型介護老人福祉施設はらから
 岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
 電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
 E-mail fujimiso@rnac.ne.jp
 URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

題字：福田 常雄 氏

特別養護老人ホーム

富士見荘

☎(0195)
78-2455

特別養護老人ホーム富士見荘
施設長 工藤和子

五月一日、「平成」の時代から「令和」の時代の幕開けとなりました。異常気象による自然災害や地震、国家間での貿易摩擦など、あまり明るい話題はありませんが、令和の「和」をもって和やかな時代になることを切望しております。

さて、みちのく協会の始まりであります特別養護老人ホーム富士見荘の開設から四十五年目を迎えております。これほど長く事業を続けることが出来たのは、創業者の志を代々の役職員が引き継ぎ、地域の皆様をはじめ、ご家族様、また事業運営に関わるすべての方の協力をいただいた日々の積み重ねの結果であると感慨深く思い、毎日の仕事に臨めることに感謝しております。

昨年の機関誌七月号では、職員のクラブ活動のご紹介をしましたが、嬉しいことと今年、新たに「家庭科倶楽部」が発足しました。職員の定着を願い、働きやすい職場環境を整えているところですが、チームワークの醸成はそう簡単に出

来るものではありません。ご入居者様についても同様で、十人を単位として生活を共にするユニットケアのスタイルでサービスを提供しておりますが、ご入居者様同士が慣れ親しむには時間がかかりますし、職員との信頼関係を築くにも時間がかかるものです。

これからも共通の趣味や目的で同じ時間を過ごしたり、集う機会を創ることでご利用者様はもとより、職員の「和」を醸成していきたいと思っております。



もはや芸術家



女子力UP



富士見荘夏祭り

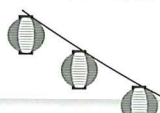
期日：令和元年8月8日(木)
 第1部 16:00~
 第2部 18:00~

場所：富士見荘庭園（雨天時は屋内ホール）

※富士見荘の庭園には駐車できません。
 車でお越しの際は、富士見荘裏に駐車場を用意しておりますので、ご利用ください。

内容：八幡平太鼓、盆踊りやさんさ踊りなどの余興、打ち上げ花火、屋台を始めとした売店販売を行う予定です。

皆さんのお越しをお待ちしております



地域密着型介護老人福祉施設

はらからの里

☎(0195) 68-7880

開設記念 逆回転寿司

六月一日ははらからの里開設記念日です。それを記念して今年も逆回転寿司を行いました。お寿司ではなく入居者様が回る。一風変わった回転寿司ですが、「おいしい」と笑顔で楽しまれていました。



松野小学校運動会見学

五月二十五日に松野小学校の運動会が開催され、今年もご招待をいただきました！

暑い日でしたが、子供たちの元気な姿を見て思わず笑顔がこぼれ、暑さも吹き飛ばすようでした。

松野小学校の皆さん今年もお招きいただき、ありがとうございました。

アスピーテ&花見ドライブ

はらからの里では、その季節ごとにドライブ行事を随時開催しています。

四月二十四日にはアスピーテラインの雪の回廊を、五月一日には野駄地区、米内の一本桜を見に、ドライブに出掛けました。

その季節にしか見られないものを見ますので天気や桜の開花情報を見ながら突然決まることもあります。その為少しバタバタとすることもありますが、入居者様にとっても職員にとっても外出行事は張り合いがあります。帰りにアイスを食べ、皆さん満足そうな表情をされていました。



錦木関来荘&相撲練習見学

六月十一日に錦木関がはらからの里に来荘されました！入居者様は相撲が好きの方が多く、生の錦木関に歓喜の声が湧き上がりました。また入居者様だけでなく、職員も興奮気味で一緒に写真撮影を行っていました。

また次の日には県営武道館相撲場で錦木関一行が練習を行っているとのこと、見学に行きました。テレビでしか見たことがない相撲の稽古は思っていたよりも迫力があり、稽古に励む若手力士の懸命な姿に、周囲から声援や拍手が沸き起こりました。この場でしか味わえない空気がとても新鮮でした。

二日間にわたってファンサービスをしてくださった錦木関、ご協力くださったご家族様、本当にありがとうございました！



松尾デイサービスセンターだも

☎(0195) 78-3720

今年ももう四半期が終わり、第二、四半期に突入しました。五月には新元号の「令和」となり、新しい天皇陛下へと変わりましたが、私たちの生活としては、特に大きな変化はないなあと感じています。

上半期を振り返ると、四月に入ってから最後までまった雪が降り、五月・六月と大きな交通事故の痛ましいニュースが連日のように流れていました。それでも、今年は去年に比べ全国的には交通事故は少ないとの話しもありました。松尾デイサービスでも、皆様の命を預かり、朝と夕方と送迎を行っておりますが、事故の要因として「慣れ」は一番怖いと思います。慣れたルートだからこそ、交通ルールや運転のマナーについて、十分に気を付けなければいけないと改めて感じております。

松尾デイサービスセンターでは、五月三十日に火災を想定した避難訓練を行いました。避難はスムーズに行われ、利用者の皆さんも火災報知機の大きな音にびっくりしながらも、慌てず避難することができました。新規採用の職員や、異動してきた職員対象に、水消火器で消火の訓練も行っています。



お花見ドライブ

四月二十八日～五月四日までの一週間、毎年恒例のお花見ドライブに行ってきた。

今年は、天気にもあまり恵まれず、雨の日もあり、晴れていても、とても風が強かった印象があり、桜の花も飛ばされていました。

県立大学では、バスを止めた目の前で陸上競技用の大きなマットも風で飛ばされるハプニングもありましたが、学生の皆さんが急いで駆けつけてくれて、マットを片付けてくれた時、利用者のみなさんから『おお、やっぱり若いのは力っこがいいな』と、笑いながら話している声を聞いて、ケガなく花見ができて良かったと思いました。

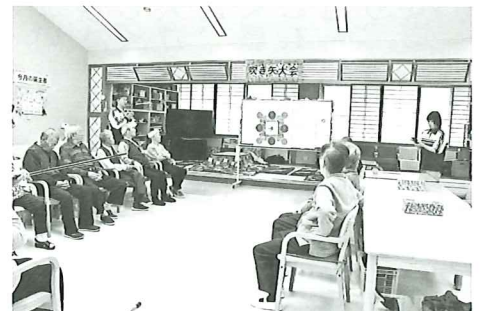
今回は、天気イタズラをされましたが、来年的にお楽しみということで、お互いに元気で過ごしていけたらと思います。

吹き矢大会

六月十六日～二十二日までデイサービスのレクリエーションとして吹き矢大会を開催しました。皆さん気合が入っていて、練習期間でも高得点を出した人が何人もいました。意気込んで臨んだ大会本番もいい勝負となりました。周りの方の応援の声や、高得点を取った際の歓声もあり、熱戦となりました。同じ日に最高得点の方が数人であることもあり、盛り上がったと思います。一週間の大会の最終結果は次の通りです。

- 優勝 高橋レイ様 (31点)
- 準優勝 小玉ヨリ様 (30点)
- 第三位 遠藤チヨ様 (28点)

優勝から三位まで、得点の差のない戦いで接戦でした。『来年こそは、優勝するぞ』と強い意気込みを聞かせてくれる方もいて、また来年の楽しみです。



リゾート型ケアハウス アーベイン八幡平

☎(0195)
78-2710

「日常の変化に……」

ケアハウスアーベイン八幡平

施設長 箱石 裕

新緑がますます鮮やかになり、その活気あふれ自然界の息吹を感じながら、アーベイン八幡平の日常生活も同じようにその快適さを求めて活動しております。

アーベイン八幡平は、ひとり暮らしやご夫婦のみで暮らしている方々で、日常生活に不安をお持ちの方々が安心して暮らせるようにと用意された軽費老人ホームで「自立支援」を基本に「より住みやすい環境の実現」に努めております。アーベイン八幡平も含めて軽費老人ホームと呼ばれる施設は、もとも介護サービスを主体にした施設ではないのですが、暮らしているうちに、自然に、あるいは何かの事由で介護が必要になってくる方が見られるようになるのはごく自然の事です。このような日常の変化に、きめこまかく対応できるようにと設けられているのが「特定施設入居者生活介護」という介護保険法上の制度です。介護保険法のうえでは、介護を主体に取り組み入所型施設として「指定介護老

人福祉施設Ⅱ特別養護老人ホーム」と「老人保健施設」がありますが、現行制度の上では、特別養護老人ホームは要介護3以上の認定を受けた方々が利用できるとなっております。そのため、要介護3未満の方々の落ち着く先として「特定施設入居者生活介護」という仕組みが注目されるようになりました。この制度という「特定施設」とは、軽費老人ホームの他に有料老人ホーム、サービス付高齢者専用賃貸住宅などの居住型住宅を指し、介護保険法で定める基準を満たして認められるものです。

アーベイン八幡平は平成二十一年度からこの仕組みを取り入れ、利用者の方々の日常の変化にすみやかに対応できるように環境を整えてきましたが、今後においても更に充実するよう取り組むこととしております。因みに、平成三十年末の時点で、利用者四十四名のうち二十二名の方々が「特定施設入居者生活介護」を利用し、介護サービスを活用し、その内訳は要支援1、要介護2の軽度の方々が一六名、要介護3以上の方々が六名でした。この「特定施設入居者生活介護」という仕組みを十分に活用し、少しでも「介護が必要になったら……」という不安を遠ざけるようにしていきたいものです。

「熱中症と脱水について」

株式会社大塚製薬工場の方を招いてアーベイン八幡平食堂ホールにて、「熱中症と脱水について」の研修会を開催いたしました。

今回は、柏台地区老人クラブの方々が六名参加され、アーベイン八幡平の入居者の方々と、みちのく協会職員と四十数名で共に研修を行いました。

皆さんは、「OS-1(オーエスワン)」と聞いてお分かりの方もいると思いますが、実際に飲んだことがある方は少ないのではないのでしょうか。

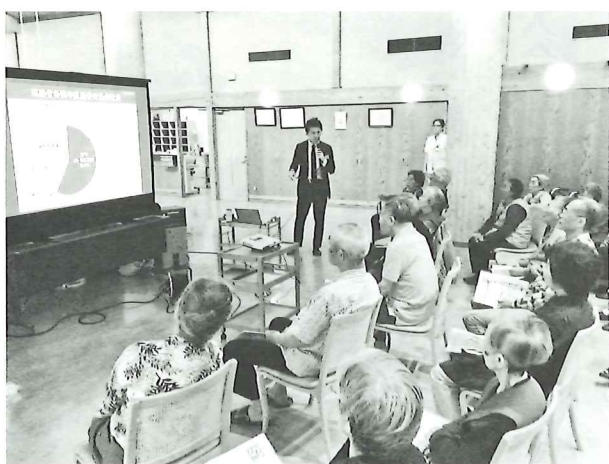
この「OS-1」は、経口補水液であり飲む点滴ともいわれております。

実際に私も暑い日の外作業を行った後に「OS-1」を飲んでみたところお腹にたまることもなく速やかに吸収されていることを実感し、また、いつもよりおいしく飲むことができました。(脱水状態に近くなってくるとおいしく感じられるようになってくる人が多いという事です。)個人差は、ありますが通常あまりおいしく感じられないという事です。これはなぜかという点、スポーツ飲料と比べ多くの塩分を含んでおり、少しよっぱいような感じがするためといわれているからです。

反面、塩分が多いので塩分制限のある方や高血圧の方など、注意が必要です。

今回の研修については、地域における社会福祉法人としての役割ということも含め、地域住民の方々と交え研修会を行いました。研修後には、株式会社大塚製薬工場様より、「OS-1」のペットボトルとゼリーのセットを研修に参加された方々一人一人に提供いただき感謝申し上げます。

昨年度の福祉用具展示会に続き、本年度は、「熱中症と脱水について」の研修会を地域の方々と開催しましたが、今後につきましても地域に開けた施設として活動して参りたいと思っております。(遠藤)



平成30年度社会福祉法人みちのく協会決算報告

貸借対照表

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

貸借対照表 (Balance Sheet) table with columns for assets (資産) and liabilities (負債), categorized by department (部) and item (目). It shows values for the current and previous fiscal years and their changes.

事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日 (単位:円)

資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日 (単位:円)

事業活動計算書 (Statement of Activities) table showing income (収入) and expenses (支出) for various service activities, categorized into service activity increase/decrease and special activity increase/decrease.

資金収支計算書 (Statement of Financial Position) table showing income (収入) and expenses (支出) for capital activities, categorized into capital activity increase/decrease and other activities.

愛

筆 淡

題字 関口作治氏

社会福祉法人 みのく協会 基本理念

社会福祉法人みのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心とこめた介護をいたします。

富士見荘の動き

4	26	新入職員歓迎会
5	7	利用者懇談会
	22	布アート教室 (あじさい)
	30	総合避難訓練
6	3	利用者懇談会
	8	家族会総会

富士見荘利用者状況

(令和元年6月1日現在)

市 町 村	男	女	計
八 幡 平 市	13	54	67
岩 手 町	0	2	2
その他市町村	0	3	3
合 計	13	59	72

富士見荘入退居者状況

入 居 者	4月	2	(0)	退 居 者	2	(1)
	5月	2	(1)		4	(2)
	6月	4	(0)		2	(0)

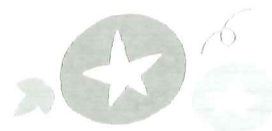
※入居()内は再入居。退居()内は死亡
※令和元年6月20日現在のもの

富士見荘短期入所生活介護

市 町 村	4月	5月	6月
八幡平市	249	272	244
他市町村	3	5	0
合 計	252	277	244

配食サービス

人数	月	4月	5月	6月
	利用者数		214	248



新入職員紹介



伊藤 美麗 (介護職員)

出身地 八幡平市
趣味 音楽鑑賞
一言 利用者様とのコミュニケーションを大切にしてお仕事を頑張ります。

編集後記

政府が認知症対策の大綱を発表しました。内容は、認知症の人も安心して暮らせる社会を目指す「共生」と認知症の発症メカニズムを解明・研究して発症や進行を遅らせる「予防」の二本立てです。また、二〇二五年には、団塊の世代が七十五歳を迎え、高齢者の五人に一人が認知症になると言われています。逆転の発想をすれば、八割の人は認知症にならずに生涯を全うすることになります。皆さん「高齢者」と分けずに慣れ親しんだここ八幡平市で生涯活躍して共に地域を支えましょう。(松尾)